

様々な視点で音楽のよさや美しさを味わって聴くことのできる生徒の育成

—音楽を形づくっている要素に基づいた言語化や意見交流の工夫を通して—



- ・授業で鑑賞するクラシックの音楽って何かつまらない
 - ・感想は何を書くの？ 伝え合うって何を伝えるの？
 - ・今までに学習した曲をあまりよく覚えてないなあ



生徒の実態

実践事例：音楽科・中1「詩の内容と曲想の変化や音楽の特徴との関わりを感じ取ろう」
【教材名「魔王」（作詞／ゲーテ 作曲／シューベルト 日本語詞／大木惇夫・伊藤武雄）】

【手立て①】 鑑賞する際の視点の提示

○音楽を形づくっている要素の知覚・可視化

「音楽の要素カード」を活用し、「デジタルワークシート」に入力する

音楽の要素カード	
この曲いよいよ! その曲がうまい! な曲は、音楽の要素が大きく関わっている	
音楽の要素をよく見て、その曲の良さを解説しよう!	
♪どんな曲も様々な音楽の要素が含まれています。	
音楽の要素	特徴
音色	明るい　暗い　激しい　やさしい　さみしい はげしい　高い音　低い音　長時間　短時間
リズム	拍子　歩くような　走るような　行進するような はねるような　のどるような　まわるような
速度	早く　遅く　中くらい　歩くくらい 速い　遅い　中央くらい　歩くくらい だんだん速く・遅く　急に早く・遅く
旋律	上昇する　下降する　平行線
	なめらかな　はねのりのいい　優雅な 音がだんだん上る・下る　音がとぐ（音の跳躍）

「音楽の要素カード」
生徒自身が要素を表す言葉
を書き加えることもできる

○視点を明確にし、繰り返し鑑賞

「音楽の要素と登場人物を結び付けよう」という視点で、動画や音源を個人で繰り返し鑑賞する

子供の所の強弱は強いな。
魔王は優しい声だな。



父の**変化**がよく分からないから、もう一度聴いてみよう。

○友達が感じ取ったことを参考に鑑賞

Google スプレッドシートで全員の前時の振り返りを共有し、新たな視点を得て鑑賞を深める

12	音色などのアップダウンで結果を知りたくなる	音色や速さなどで強さが分かる
13	登場人物の三人で音の激しさなどが違うから、一人で歌っていても何人かで歌っている感じがする所がおもしろい。	同じ人でも出てくる事に、明暗や強弱などが違うから、それぞれのいろいろな顔が見れるようで、良い。
14	強弱が何回も変わるので何回も変わるところがいいと思った。	リズムがはねている感じだけど、音色が暗い感じだから聴いていておもしろいところがいいと思った。

友達は、自分とは違う視点でよさやおもしろさを見付けていたな。

音楽を形づくっている要素に注目して聴くと、曲の雰囲気や登場人物の気持ちが分かっておもしろいね。



音楽のよさや美しさをより一層深く味わい、自己の音楽の世界を広げることができる生徒



- 「音楽の要素カード」を活用し、鑑賞する際の視点や目的を明確にすることにより、思考の幅が広がった。
 - 「デジタルワークシート」は、知覚・感受したことを可視化し、言語化、共有することに有効だった。
 - 感じたことの言語化と意見交流を繰り返すことは、新たな視点を得て、鑑賞を深めることに有効だった。



- 2、3年時に生徒自身がこれらの学習方法を選択、活用、更に応用できるよう、改善を加え実践を継続する必要がある。
 - 様々な題材や、表現活動（歌唱、器楽等）でも活用できるような汎用性を模索していきたい。